

# 京都教区時報

第171号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨  
 編集 カトリックきょうと福音センター 住所 京都市中京区壬生淵田町26 Tel 822-7123



## 聴き、吸い上げ、生かすのは 誰か

村上透磨  
(河原町教会助任)

### 第2回ナイス

「テーマは家庭にしましょう。ついてはこの家庭の問題について、どんな観点から取り組んだらよいご意見をお聞かせ下さい。」と司教団は謙遜に(?)でてこられたの

です。でもやつぱり、ここでも司教団が聴き、吸い上げ、生かすという印象を与えてしまっているような懸念がある。聴き、吸い上げるまではまあよいでしょう。しかし、生かすのは誰か、信徒でしよう。でも第1回ナイスのように、司教団のまじめな解答を待っている人達がいる。あらゆる家庭にまつわる悩みごと、問題を聞いてくださるということで、それを吐露したいと思っている人がたくさんいる。それに対し、司教団は解答なさるのでしょうか。今回は司祭達も悩みや問題の提供者になります。

さて、私は第2回ナイスは「共に喜ぶ」のではなく「共に悩む」覚悟をせねばならないと思う。また一つの大きな心配は、主役が信徒でなくなる危険性がでてきそうな気がする。問題に触れるな避けて通れというわけにはいきません。ただずいぶんの覚悟と「誰」がを明確にする必要があるようです。

### 聴き、吸い上げ、生かすのは誰か

「聴き、吸い上げ、生かすは第1回ナイスの時に心がけたことです。第2回ナイスも同じ姿勢でゆきましょう」と司教団が呼びかけています。でも誰が聴き、吸

い上げ、生かすのでしょうか。第1回ナイスの時は明らかに司教団だつたように思えます。だから司教団もまじめに受けとめられ、「ともに喜びをもつて生きよう」(第1回福音宣教推進全国会議にこたえて)といふのをだされた。それ自体すばらしいことであり、画期的なことだと思います。しかし、そこでいくらか反省すべき点があつたのではないかでしょうか。

確かに第1回ナイスで、聖霊の導きのもとにだされた討議の結論を司教団に答申しました。ですから司教様はこれに誠実に返答された。でもそれは答えて終ってしまったのではないでしようか。「あなたの方の言つてくれたことはよくわかった。だったらあなた方はこう変つてくれないか」という宿題はだされなかつたのですね。そして、答申に従つて制度や組織の見直しをしましよう。といろんなプロジェクトチームが作られた、養成コースも作られた。だけど私たちはそのような手段を目的にしてしまった。目的は達成されたから成果は実つたと錯覚してしまつたのではないか。さらには養成は本当は自己刷新(カイシン)していくことであるはずなのに、養成する(される)ということに目が移つてしまつた。そういうことがなんか後味を悪くというか何かひつかかるものを残しているのではない

か。  
いつたい「誰が」聴き、吸い上げ、生かすのでしょうか。

# 宣教司牧評議会報告

’90年12月9・10日

報告

## □適正配置について

### 1討議事項

- ・司祭召命増加のための努力
- ・司祭・信徒の自己刷新——教会の役割を考える
- ・小教区運営のあり方
- ・小教区建物改築——維持費のブル制
- ・小教区の適正化——司祭の人事を含む

### 3司牧評議会としての具体的な実施案

#### ・教区全体の現状調査、分析を行う

#### ・意識調査アンケートを行う

#### ▼決議事項

#### アンケートの具体的実施方法は常任委員会で検討する。

### 議題——教区全体の現状調査を実施することについて

#### 2主な意見

- ・司祭がいなくなつた場合の共同司牧の実施について小教区で考えてもらう
- ・小教区の統合——この問題を信徒が受け入れられるか。つっこんだ話し合いが必要ではないか。
- ・司牧評の決定について——代表者を出しているのだから、後で巻き返しがあつてはならないと思ふ。
- ・小教区配置の適正化から取り組みたい。(いつたん白紙にもどしこに教会をつくるかを考える)

### ▼決定事項

- 谷口氏の意見を参考に奥本氏、西野師、村上師で調査方法についてのたたき台を作る。

◎データー化する時、コメントを入れわかりやすくする。  
（ただし、推進委員会のメンバーが代表者になるということではない）

◎現状調査し、それを分析して評議会に提出する。

## □常任委員会(第2回)

### 議題——現状調査について

#### ■現状調査について

#### ナイスⅡについて

#### ■事務局

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■今後の進め方

#### ・オリエンテーション

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■資料委員会(長崎氏)

#### 7現状調査について(Fr西野)

#### ・オリエンテーション

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■事務局

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■今後の進め方

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■資料委員会(長崎氏)

#### 7現状調査について(Fr西野)

#### ・オリエンテーション

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■事務局

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■資料委員会(長崎氏)

#### 7現状調査について(Fr西野)

#### ・オリエンテーション

#### ・各グループに分かれて討議。

#### ■資料委員会(長崎氏)

#### 7現状調査について(Fr西野)

#### ・オリエンテーション

#### ・各グループに分かれて討議。

### ナイスⅡの取組みについて

ナイスⅡの受皿として、司牧評が取組んでほしいとの司教の諮問があつたがまづ、司祭評議会で検討していくよう要望。

#### ■報告事項

#### ○’91年度宣教司牧評議会(6月8・9日)

#### 1アジア交流委員会(梅原氏)

#### 2青年センター(池田氏)

#### 3平和への歩みについて(Fr柳本)

#### 4補助金審査委員について(奥本氏)

#### 5ナイスⅡについて(Fr花井)

など

進していくよう司教に上申した。  
(ただし、推進委員会のメンバーが代表者になるということではない)

これまでに意識調査アンケートを集約することは不可能。任期の延長も考えたい。アンケートの素案作成にあたつては事務局が作るのではなく項目を分けて各ブロックで作るか新たに委員を作る。その際、青年の協力を得る。任期は延長しないで2年である程度、結果をだしていく方向があつてもいいのではないか。各自が素案を提出して常任委員会でまとめてみてはどうか。

## 討議内容要約

(1) 用語の内容が不明瞭  
説明を充分聞いて初めて理解できるようなカトリック独特の難解な用語が多い。

「適正配置」とは「よりよき福音宣教共同体を作ること」の意味。しかし、一般信徒にとつて「適正配置」とは、「神父の適材適所」の意と解するのが一般的である。また、一般信徒にとっては、そのことが最も切実な問題としてとらえられている。

## (2) 「適正配置」の主要問題

- A 司祭の絶対数の不足
- ・全国の司祭数の均等配分を検討すべきだ
- ・召命問題の重要性は理解できるが、現在直面する司祭像から召命に応ずる若者を期待することは難しい。
- ・司祭の高齢化
- B 教会所在地の適性化
  - ・人口密度・交通機関の便利さ・老朽化・所在地のスペース・資金面。
- この問題に関する「アンケート」の回答を待ち、信

徒主導型のプロジェクトチームを早急に編成すべき。

## C 司祭の協調性

司祭の不協和音は、司祭が思っている以上に信徒に大きな影響を及ぼし、志氣を弱めている。

教区の諸行事または種々の計画はどこでどのように決定されているのか、信徒には全く分からぬ。司祭に質問しても、殆ど司祭自身もわかつてない現状では、司祭同志の足並みがそろうわけがない。

D 信徒の刷新

- ・聖体奉仕者の数と質の問題
- ・女性の教会参加
- 女性の叙階問題も含めて、教区内での女性の適正配置を考えるべき時代が到来するだろう。
- ・信徒の教区行政への参加
- 少なくとも信徒の代表者が教区の諸決定機関に参与すること

## 司祭評議会定例会議報告

## 審議事項

## 1、司祭の休暇制度について

司祭総会に議題として出されたもので、田中司教より説明があり、今後各グループで検討するよう要請されました。

## 2、司祭・修道士研修会について

日程、8月21日(水)～23日(金)。講師は沢野師(広島教区)に決まりました。

## 3、宣教司牧評議会報告

花井師より報告(P2参照)

なお、建物については昨年7月の会議で「建物の維持管理検討委員会」について、宗教法人責任役員会で明確にしていくことを確認していますので、あらためて、討議して頂くようを要請します。

また、各小教区の建物のための協力券・バザーをお互いに売りあわないという了解事項があることを確認しました。

▼次回は9月5日です。

## 教区事務所だより

## 「カトリック聖母保育園」運営移管のご案内

従来、社会福祉法人聖母訪問会にて運営されていました、

「カトリック聖母保育園」京都市中京区壬生淵田町28番地

TEL 075(821)5503  
住所:京都市中京区壬生仙町23番地

は、1991年7月1日をもって社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会に移管されました。

今後とも絶大なご援助をお願い致します。

社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会  
理事長 田中健一

## 司祭異動(9月1日付)

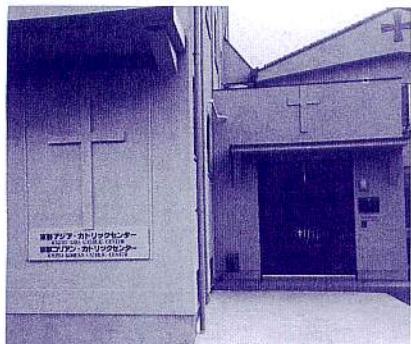
大津教会主任

L・ウォルケン師(衣笠教会)  
理事長 田中健一

河原町教会助任  
村上透磨師

▼大津教会エグルストン師はアメリカへ帰国。河原町教会助任、高山師は休暇。

河原町教会助任  
メリカへ帰国。河原町教会助任、高山師は休暇。



コリアンセンター改修祝別式 7月14日

## 京都 アジア・センターに コリアン 名前がかわります

今から43年前、河原町教会にて韓国人を中心とした信者会ができた。そして1952年、カール師によつて、京都市中京区西ノ京南上合町3にコリアン・カトリック・センターが建てられ現在に至る。しかし、この建物が老朽化し、たみは腐り、雨もりがするなどのため、今年1月より改築することになり、一部分をのぞき全面改築となつた。

改築後のセンターは、当初2階にあつた聖堂が1階に移り、3階には個室ができ、現在3人の留学生とフィリピンの一家族が住んでいる。その他、大広間、学習会用の大・小ホールなどあり、一般の方々にも広く利用していただけるようになつてゐる。

「新しくなつたセンターをみんながどんどん利用してくださるよう、もつともつとアピールしていくたいですね。これからはボランティア活動、韓国語、タガログ語の会話教室などを望がなければなりませんでもしていきます。結婚式に披露宴もできますよ。そして、地域活動の場としても開放していき、

地域に愛されるセンターにしていただきたい」と目を輝かせ話してください

る杉原さん。

これまで、コリアン・センターがどこにあるのか、どんな活動をしているのか知らなかつた人が多いと思うが、これからは教区の施設としてどんどん利用していってほしいと思う。

コリアン・カトリック・センターは改築と同時にアジア・カトリック・センターとしてもつと幅広くアジアの国々に目を開いていきます。活動の主体はこれまでどおり、コリアン・センターが行いますが、これからはアジア・カトリック・センターの名前でみなさんに親しまれるよう努力していきます。

援助金振込先(郵便振替)

京都5-115445

問合せ先

〒604 京都市中京区西ノ京

南上合町3

まで

琵琶湖の東岸、草津市にある私たちの教会の新聖堂が竣工し、去る7月21日、田中司教様司式によから沢山の神父様、信徒の皆さんもお祝いにかけつけてくださいました。そのおかげで聖堂はもちらんのこそ、玄関ホールに設置した3台のモニターテレビ前も満杯の人で、500名を越す信徒が、新しい「神の家」の完成を感じました。

自分たちの手で新聖堂を、と具体的な準備が始められたのが7年前です。しかし、それまでも様々な論議が繰り返されており、中でも小教区の範囲が広いので、草津以外に信仰の拠点づくりを優先させるか、老朽化の目立つ草津教会を改築するかは、大きな選択でした。結果、甲賀教会をつくり、近江八幡にも土地を購入した後、草津の新聖堂建設に着手したのが7年前というわけです。

限られた予算で建設することに幾多の困難がありましたが、こ

草津の新聖堂

7月21日  
獻堂式

7月29日、御所にあるカトリック聖ヨゼフホームを主体として特別養護老人ホーム、デイ・サービスセンター、「サンタ・マリア」の竣工祝別式が行われた。「サンタ・マリア」は高の原野外礼拝センターに隣接し、新興住宅地のなかにある。施設の設備は非常に機能的でできており、特に浴室はデイサービスセンター用、特別養護用特殊浴室と3室あり入浴がゆつたりとできるようになっている。また各部屋にはトイレが備えてあります。



△デイ・サービスセンターの在宅のお年寄りをホームのバス



## (サンタ・マリア竣工・祝別式 7月29日)

# 古いも若きも 行きかう老人ホーム 誕生

随所にきめ細かい配慮がされている。  
具体的な事業内容としては次の  
とおりである。

### △特別養護老人ホーム

定員50名。原則として65歳以上の老人で、つねに介護を必要とし、在宅で介護を受ける事が困難な方の生活の場です。

### △ショートステイ

体の不自由な老人を介護しているご家族が、病気等の理由で介護できない場合、短期間(7日以内)ホームで家族にかわってお世話をいたします。

### △デイ・サービスセンター

このデイ・サービスセンターは、

お年寄りのあらゆる問題について、24時間態制でご相談に応じます。また、介護用品の展示を行っています。※お電話でも、ご来訪でもお待ちしています。

### △在宅介護支援センター

このようにショートステイ・デイ・サービスと在宅介護を支える活動も整え、一部を除き8月1日よりスタートする。この「サンタ・マリア」の竣工式に参加し、気づいたことはこの施設が住宅地の中にできているということである。

老人ホームは町から離れた所が多い。面会に行くにも不便な所が多い。しかし、この「サンタ・マリア」は駅や病院に近く便利なところに建っている。便利な所には人が集まり情報が多く、人々の活気がある。古いも若きも行きかうことのできる生活が、これから高齢化社会への提言ではないかと思う。



△祝賀パーティーの最後は、ものすごい夕立でお開きとなりましたが、これは私たちの門出の大作で300枚の陶板を組み合わせたものです。400年前の先達の信仰が、私たちの中にも脈々と受けつがれ、社会に開かれた教育になればと願っています。

△献堂式の祝賀パーティーの最後は、ものすごい夕立でお開きとなりましたが、これは私たちの門出の大作で300枚の陶板を組み合わせたものです。400年前の先達の信仰が、私たちの中にも脈々と受けつがれ、社会に開かれた教育になればと願っています。

△壁は、高さ3・4m、横3・75mの大作で300枚の陶板を組み合わせたものです。400年前の先達の信仰が、私たちの中にも脈々と受けつがれ、社会に開かれた教育になればと願っています。

△献堂式の祝賀パーティーの最後は、ものすごい夕立でお開きとなりましたが、これは私たちの門出の大作で300枚の陶板を組み合わせたものです。400年前の先達の信仰が、私たちの中にも脈々と受けつがれ、社会に開かれた教育になればと願っています。

みことばを  
かこう **書道展・絵画展応募要項** '91聖書週間

- 主催……京都教区・カトリックきょうと福音センター
- 趣旨……聖書を生活の中に入れていく
- 参加資格……子供の部—幼児から高校生まで  
成人の部—一般社会人（どなたでも）

## 4. 出品要項

【書道】  
出品点数 2点まで  
大きさ 自由  
表装、裏打ちなし

出品料 1点につき  
子供の部 200円 成人の部 300円

## 【絵画】

出品点数 1人1点（合作も可）  
大きさ 4ツ切りまで  
額縁なし

出品料 1点につき  
子供の部 200円 成人の部 300円

※内容は聖書のみことばから自由に選んでください。  
※申込み用紙と出品料を作品にそえて出品してください。

※全員に参加賞をさしあげます。（子供の部は入選者に表彰状）

※取りにこられる方には作品をお返しします

5. 出品締切…10月31日(木) 截止  
6. 送り先……カトリックきょうと福音センター  
〒604 京都市中京区壬生淵田町26  
西院カトリック会館内  
☎075(822)7123

7. 展示会……西院カトリック会館1F大ホール  
11月21日(木)～12月2日(月) 12時まで

# '91年 京都ウォーカソン 今年は11月4日(月)です

## 〈送り先〉

- ドウマガット国際教育援助の会
- ドウマガットとはフィリピン  
ルソン島の東側シェラ・マド  
レの山々の奥深くに住む少數  
民族、ドウマガット族のこと  
です。ドウマガット族はもと  
もと海辺で生活をしていまし  
たがスペインの入植により土  
地を奪われ山の頂上近くまで  
追いこまれ、さらに現在は森  
林公園化のプロジェクトのた  
めに今、住んでいる所まで奪  
われようとしています。飢餓  
に泣くドウマガットの子供た  
ちのために今年も多くの方の  
参加をお願いいたします。

ドウマガット国際教育援助の会

ドウマガットとはフィリピン  
ルソン島の東側シェラ・マド  
レの山々の奥深くに住む少數  
民族、ドウマガット族のこと  
です。ドウマガット族はもと  
もと海辺で生活をしていまし  
たがスペインの入植により土  
地を奪われ山の頂上近くまで  
追いこまれ、さらに現在は森  
林公園化のプロジェクトのた  
めに今、住んでいる所まで奪  
われようとしています。飢餓  
に泣くドウマガットの子供た  
ちのために今年も多くの方の  
参加をお願いいたします。

25年ぶりに世界の各地から銀  
祝を祝いに集つた33名の同級生  
が捧げた自分達だけのミサ。聖  
靈降臨の朝約200名の後輩達の前  
でした共同司式ミサは、世界は  
一つであること、ミサを捧げる  
ことに私達は世界が一つになつ  
ている事を深く感じたものです。  
今、私達は個人的にミサを捧  
げていても、世界の何万いや何  
十万の司祭が信徒と共に捧げる  
ミサは、一つのキリストのミサ  
なのだという事を今一度思い直  
したのです。

そのあと南アフリカとケニア  
に約1ヶ月の旅をしました。そ  
の中で特に感激したミサがいく  
つかあります。

その一つは南アフリカの首都、  
ブレトリアで司教と共に捧げた、  
青年のミサです。年1回青年の  
年に全教区から集つて来て、青  
年のミサをします。その時の圧

神学生の歌声に圧倒されました。  
もう一つはケニアのサイロビ  
ユ族（と思いますが）の貧しい部  
落のバラックの教会で捧げたミサ。  
共通する事が一つある。それ  
は彼らが心の底から、いや腹の  
底から、主をたたえて歌う歌の  
素晴しさです。本当に心にこみ  
あげてくるものがあり、言葉が  
解らなくとも、どれも本当のミ  
サだったと言う印象です。歌う  
人は二度祈るのです。心の底か  
ら歌う歌の祈りは信仰の吐露な  
のです。



腹の底から  
わきでる祈り歌

一つになって  
捧げる祈りミサ

神学生の歌声に圧倒されました。  
もう一つはケニアのサイロビ  
ユ族（と思いますが）の貧しい部  
落のバラックの教会で捧げたミサ。  
共通する事が一つある。それ  
は彼らが心の底から、いや腹の  
底から、主をたたえて歌う歌の  
素晴しさです。本当に心にこみ  
あげてくるものがあり、言葉が  
解らなくとも、どれも本当のミ  
サだったと言う印象です。歌う  
人は二度祈るのです。心の底か  
ら歌う歌の祈りは信仰の吐露な  
のです。

(M)

卷は、奉獻の時、色とりどりの  
民族衣裳に身をまとった青年達  
が20名位、ツイストしながら  
奉獻を捧げた事です。

次は聖体の祝日にレントのカ  
ツチャース・ネック教区の司教  
座聖堂で聖体行列を含め約3時  
間半にわたるミサに共同司式し  
た時でした。彼らの中には山を  
こえて朝5時頃起きて10時のミ  
サにあづからうとして来る人々  
もいるのです。

## アルミニウム回収の報告

### 丹後合同青年会

丹後と言えば合同青年会?……と言いたいところですが、平均年齢もいまや限りなく30に近く、半数以上が子育てに追いまくられ、残りの淋しい一人者達も昔のようないい時代に突入したと実感します。皆家に帰るというしだいで、他の地区の若いエネルギーな皆様達には到底着いていけず、ここ10年以上頑張ってきた私達ですが大相撲の貴花田ではありませんが新しい時代に突入したと実感します。前置きが長くなりましたが、その活動の中の一つであるアルミ缶回収について報告します。事のおこりは約2年前から平和への歩みの勉強会をはじめて、その中で世界中にあるさまざまな問題についてまずその実態を正しく知ろうと月に2回集まつて勉強してきました。今年になってより具体的に自分達にできる事はないかと考え、色々検討していく中でゴミ処理の問題を考えた時アルミ缶のリサイクルということができました。その時

### ソフトボール大会

10月13日(日)  
光泉中・高校グラウンド  
(滋賀県草津)  
※雨天の場合はバレー  
ボールになります。  
問合せ先  
青年センター  
☎ 075(812)6246



(文責 S.K.)

カトリック新聞にアルミ缶のリサイクルでバングラデシュの子供たちに寺小屋を贈るというアジアキリスト教基金の呼びかけの記事を目にして、つそく連絡をとつて6月23日に北部11教会の協力によって回収作業を行いました。アルミ缶は約150kg、1kg50円でひきとつてもらい7,250円になりました。今後も定期的に続けていきます。次回は9月29日実施します。前回の倍以上は集めるぞとメンバー一同はりきつています。

(((((お)))))) あんてな



おかげさまで、バングラデシュサイクリコン救援募金も7月末付で7,175,970円となり、すでにその内3万ドルをチツタゴン司教区へ送金しました。現地より返事が着きしらず、残りを送金する予定です。壊れた家屋の再建、農耕に使う為の牛の購入、新しい苗の用意、道路や橋等交通機関の復興、それに将来に備え、より多くのシェルターの建設と、今ロザリオ司教様たちが取りかかっておられるプロジェクトに皆さまからの御援助が大きく役立つことだと思います。本当にありがとうございます。約1年ほどさてもうひとつ皆さまに報告する事があります。約1年ほど前、フィリップ・ザザイ・神父様から、バングラデシュの青年を針灸の勉強の為に日本へ送りたいとの

申し出がありました。地域にそのような専門家がないこと、しかし地域の人々の為にもそのような専門家が是非ほしいと強い希望を持っておられ、私たちも出来るだけ応えていきたいと前向きに検討してきました。しかし日本での針灸の勉強となると言葉の問題、受け入れ施設が見つからない、バングラデシュと日本では治療の内容、環境の違いなどが異なるなど、学ぶことが難しく困難を強いられています。しかし、中国の北京中医学院で外国人対象の針灸を教える部門があり、研修生として6ヶ月学べることになりました。そこでは、個人講義で技術指導も行われます。過去に、アフリカ、南米、アジアからの留学生も受け入れた実績もある学校です。私たちKYOSIAは全面的にバックアップをすることを決定し、研修終了後には日本へも立ち寄っていただき、交流や報告会を予定しています。皆さまの御理解と御協力ををお願いします。彼についてのプロフィールは後日お知らせします。

(文責  
田中)

KYOSIAニュース

# お知らせ

## 教区スケジュール

9月

1日(日)結婚相談室 PM 1時30分～  
（河原町カトリック会館6F）

5日 司祭評議会  
7～8日臨時司牧評議委員会  
15日(日)正平協現地研修会

（琵琶湖汚染染色学）  
カトリック・スカウトの日  
衣笠教会バザー

23日 聖ビンセント・バウロ記念ミサ  
27日 伏見教会堅信式・40周年  
29日(日)年記念

6日(日)結婚相談室 PM 1時30分～  
都の元和殉教者賛美記  
念ミサ（河原町教会 AM 10:30）

10月  
14～18日教区司祭黙想会  
19日部落問題委員会学習会  
20日(日)奈良ブロック合同堅信式  
於野外礼拝センター  
記念日（洛星中高等学校）  
21日 子羊会例会（高野教会）  
27日(日)龜岡教会堅信式

21日 ヴィアトール祭・創立  
記念日（洛星中高等学校）  
27日(日)子羊会例会（高野教会）  
龜岡教会堅信式

## Sr.小久保の福音書講座シリーズ ルカ福音書講座

9月26日(木)～  
毎月1回木曜日（全6日）  
ごご1時30分～3時  
西院カトリック会館小ホール  
問合せ 福音センター  
☎075(822)7123

◎9月15日——大和八木教会  
ビデオ学習（第1巻前近代篇）  
日本の歴史と部落問題  
◎10月20日——大和郡山教会  
ビデオ学習（第2巻近代篇）  
日本の歴史と部落問題  
講師 Sr.岳田みさ子さん

▼映画上映会のご案内  
アリランのうた  
オキナワからの証言  
▼全国共通前売鑑賞券 おとな1、  
200円（当日1,500円） 小中高800  
円（当日1,000円） ▼申込み方法 郵便  
振替で京都4-169163 「アリ  
ランのうた」へ ▼問合せ先 ☎075  
（822）7123 石原まで

## 第86回病人司牧コース

11月22日(金)～24日(日)  
野外礼拝センター  
問合せ 福音センター桂川まで  
☎075(822)7123



この夏はくだものをたくさん食べた。無農薬で自然の中で実ったくだものは甘い、すっぱいがはつきりしている。最近のくだもの、どれも同じ味に思うのは私だけか。

## 聖書講座 —新共同訳聖書について

京都南部平和への歩み  
ともに生きよう（人と神）  
日時 9月22日 PM2:00～  
場所 河原町教会地下ホール  
講師 太田道子さん  
▶みなさんご参加ください

主催 聖書使徒職委員会  
問合せ先 カトリックきょうと福音セン  
ター福島まで ☎075(822)7123  
参加費 500円  
主催 聖書使徒職委員会  
問合せ先 カトリックきょうと福音セン  
ター福島まで ☎075(822)7123  
（ノートルダム教育修道女会）  
7月22日午後3時20分  
（ヌヴェール愛徳修道会）  
8月6日午前5時36分  
（ノートルダム教育修道女会）  
7月7日（フランス時間）  
1926年来日。27～29年舞鶴  
教会にて司牧。日本での生活は  
短かかったが多くの日本人が口  
一マなどで世話をなっている。

Sr.メリーマルティナ中里寛子（63歳）  
（ノートルダム教育修道女会）  
2月13日  
Sr.瀬川好利（67歳）  
（ヌヴェール愛徳修道会）  
8月6日午前5時36分  
（ノートルダム教育修道女会）  
7月7日（フランス時間）  
1926年来日。27～29年舞鶴  
教会にて司牧。日本での生活は  
短かかったが多くの日本人が口  
一マなどで世話をなっている。



帰天